

あなたの声からはじまります

《自覚がない場合も少なくありません》

「高齢者虐待」は、虐待をしている人に自覚があるとは限りません。

高齢者が危険な状態に陥っても、虐待の自覚がないことが多いのも特徴です。

《ささいなことが

積み重なっていることもあります》

家族や親族が「ちょっとしたこと」「ささいなこと」と思っている、積み重なることによって高齢者に大きな影響を与えることがあります。

また、介護の方法が分からないために不適切な対応となって、高齢者のためになると誤解していることが虐待につながることもあります。

あなたの気づきにより、

虐待の深刻化を防ぐことができます。



高齢者虐待は、早い時期に相談することで、サービスにつなげたり、介護者のストレスを軽減したりして防ぐこともできます。

「虐待かもしれない」と心配な高齢者や介護者がいたら、ご相談ください。

相談した方のプライバシーは保護されますので、ご安心ください。

相談窓口

多賀城市西部地域包括支援センター

TEL：022-309-3950

月曜日～金曜日 8：30～17：30

多賀城市中央地域包括支援センター

TEL：022-368-6350

月曜日～金曜日 8：30～17：15

多賀城市東部地域包括支援センター

TEL：022-363-4055

月曜日～土曜日 8：30～17：30

多賀城市 介護・障害福祉課

TEL：022-368-1498

月曜日～金曜日 8：30～17：15

高齢者の尊厳を

守るために

私たちにできること

～高齢者虐待防止にむけて～



多賀城市

虐待予防・発見への気づきのサイン

《高齢者のサイン》

- 身体に不自然な痣や傷、やけどなどの跡が見られる。
- 「家に帰りたくない」「家にいたくない」などの訴えがある。
- 汚れたままの服を着ている、お風呂に入っている様子がない。
- 「お金を渡されていない」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」など、お金に困っている様子が見られる。
- 家族の話題を避けるようになった。
- 急激に痩せてきている。 など

《介護者のサイン》

- 介護に疲れている様子が見える。
- 高齢者に対して無関心さが見られる。
- 高齢者の世話や介護に対する拒否的な発言が聞かれる。
- 高齢者に対し過度に乱暴な話し方をする。
- 家から高齢者や介護者、家族の怒鳴り声や泣き声が聞こえる。
- 高齢者を尋ねると家族に嫌がられたり、会わせてもらえない。
- 経済的に余裕があるように見えるのに、高齢者に対してお金をかけようとしない。 など

高齢者虐待を

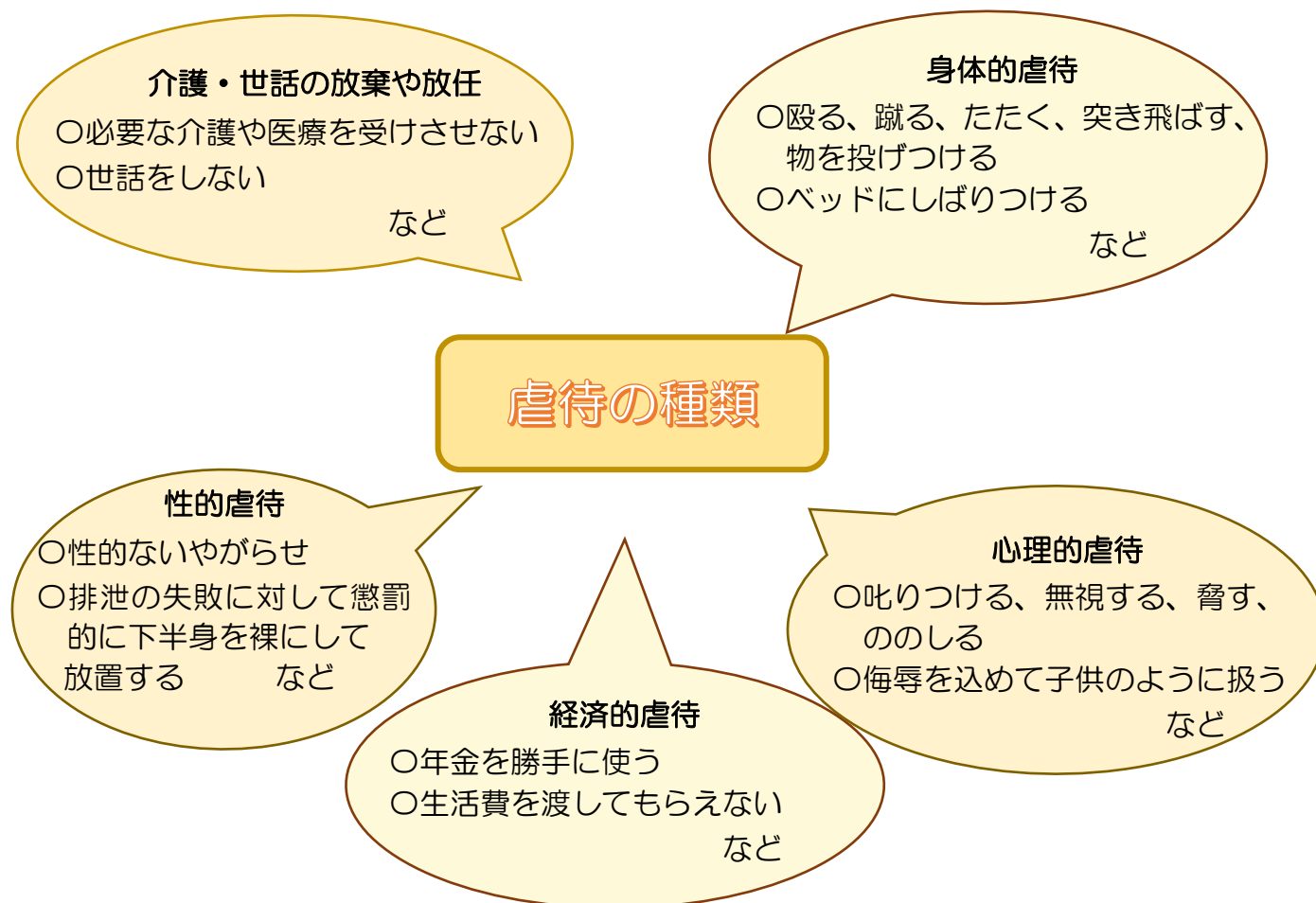
見過ごさないようにしましょう。

虐待を受けている高齢者や介護に疲れた家族のサインに気づいてあげること、そして見過ごさないことが、虐待を防ぐ第一歩です。

なぜ、虐待は起こるの？

どこの家庭でも起こりうるできごとです。

- ◆ 高齢者の身体状況の変化
- ◆ 認知症状による言動
- ◆ 介護ストレス などが要因になると言われています。



*ここに紹介しているのは、サインの一例です。